



Audi  
Team SHOW APEX

2024年9月10日  
Audi Team SHOW APEX

## ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE スーパー耐久INモビリティリゾートもてぎ レースレポート

予選：2024年9月7日 DRY

決勝：2024年9月7日 DRY



Audi Team SHOW APEXは、ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE (以下:スーパー耐久シリーズ)第4戦モビリティリゾートもてぎラウンドに参戦しST-TCRクラス シーズン初優勝で終わりました。

### ◆予選

スーパー耐久シリーズ初の試みで行われた予選決勝を1Dayで行う大会となったもてぎラウンド。残暑が厳しい中、午前に予選が行われた。

Aドライバー藤原選手予選 昨日の走行を上回る走りでクラス2番手につけ予選を終えた。

Bドライバー霜野選手予選 フィーリングは悪くない仕上がりが良かったがうまく噛み合わず3番手の予選となった。

Cドライバー田ヶ原選手予選 決勝用のセット組み立てなど一通りオーダーを行い危なげない走りで予選を終えた。



#### ◆決 勝

予選が終わると間も無くピットウォークを行い午後の決勝に向けて慌ただしく準備が進められる。1Dayと言うこともあり来場されるお客様の数も多く賑わう中、決勝がスタート。スタートドライバーはAドライバーの藤原選手が担当。予選順位が3番手と言うこともあり規定周回数や路温を考慮し上位に食らいついていった。しかし、ライバルチームはプロドライバーを多く起用するBドライバーが乗車しており徐々に離されいくが75分のドライブを終えドライバーチェンジ。Bドライバーの霜野選手にハンドルを託しコースイン。中盤に差し掛かる頃、ライバルチームの1台が失速し緊急ピットイン、またFCYからリスタートしもう一台のライバルチームを抜き去りクラストップに躍り出た。マージンをさらに広め2番手とのギャップ差が30秒ほど出来たタイミングでドライバーチェンジを田ヶ原選手と行った。この頃エヴァRT初号機 RS3 LMSもギアの油温の高さに悩まされ思うような走りができない我慢のレース展開に。ラップタイムよりもマシンのトラブルを警戒した走りに切り替え、田ヶ原選手は試行錯誤しながらの周回に努める。クラストップを死守しながら、マシンのインフォメーションを行い情報を皆で共有。ラスト70分を残し最後のピットインを行い最低限のロスでマシン調整を行い霜野選手を送り出した。気温も下がらない中、他クラスの車両も暑さによるトラブルでFCYが発動する場面も霜野選手はマシンをセーブ。ペースは上がらないが2番手とのギャップ差をキープしつつ我慢のレースを展開しクラストップでチェッカーを受けAudi Team SHOW APEXはシーズン2戦目でST-TCR初優勝を獲得した。

ST-TCRクラス公式予選リザルト (A,Bドライバー合算) 3台出走  
エヴァRT初号機 RS3 LMS 3位 4'07.876

ST-TCRクラス公式決勝リザルト 3台出走  
エヴァRT初号機 RS3 LMS 1位 5:01'16561 131LAP



チーム代表兼Cドライバー 田ヶ原 章蔵

前回のレースが惜しくもラスト5分でリタイヤになり、今回は勝ちを特に意識して参加させていただきました。チーム全員の頑張りで、強敵との我慢比べに競り勝ち、Audi Team SHOW APEXとしては初優勝！自身としては2019年の富士24時間依頼の優勝でした。久しぶりにAudi RS3 LMS号をドライブしましたが、やっぱり良いマシンでした！  
Audi Team SHOW APEXの全ての関係者様、応援して下さっているスポンサー各位様、声援を頂いておりました全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

チーム監督 澤田 栄宏

1Day予選決勝と慌ただしい中、暑さも加わり非常に難しいラウンドでした。特に決勝の暑さには苦しめられマシンをケアした走りに徹してゴールまでみんなで運べチェッカーを受けAudi Team SHOW APEXとして初のクラス優勝ができました。支援いただいているスポンサー様やAudi関係者様、応援いただいた皆様に良いご報告できて非常に嬉しく思います！次戦鈴鹿ラウンドまで時間があまりないですがしっかり準備をして臨みます！引き続き応援よろしくお祈りします。

Aドライバー 藤原 能成

応援してくださった方々、長らく...本当にお待たせ致しました！念願の優勝！

私は13年ぶりの優勝、今まで2位ばかりで悔しい思いをしていたのですが、漸く形になりました。

スタートドライバーも久しぶりでバトルを堪能し、予選では全く歯が立たなかった相手について行けたのも自信へと繋がりました。前回APは自分の判断ミスで迷惑を掛けてしまった事、ずっと心に棘が刺さっていました。今回も本当に暑くて途中何度も弱音が出そうになりましたが、メカ・ドライバー・チームが支えてくれました。そして全員が一丸となりミス無く完璧な仕事をしてくれた結果だと思えます。本当に応援ありがとうございました！次戦鈴鹿も連勝に向けて頑張ります！

Bドライバー 霜野 誠友

予選は良いアタックが出来ましたが、あと一歩タイムを上げたかったという悔しさが残りました。

決勝では2スティントを担当し、1回目はペースをコントロールしながら#98とのギャップを築き、2回目は労わりながらマシンを無事にチェッカーまで運ぶことに集中しました。

チーム初優勝を先輩ドライバーの田ヶ原さんと共に成し遂げることが出来て本当に嬉しいです。

次戦の鈴鹿ラウンドは僕にとってホームレースになりますので、良い走り、良いレースが出来るようしっかりと準備を重ねていきたいと思えます。引き続き皆様の応援を宜しくお祈り申し上げます。